



作成日:2020年 4月28日

製品安全データシート(MSDS)

1、 化学物質等及び会社情報

製品名 :ストーンプロテクト
 会社名 :セイワ株式会社
 住所 :〒701-0203 岡山県岡山市中区国富2-17-3
 担当部門 :クレンリネス事業部マーケティング課
 電話番号 :086-272-8511
 FAX番号 :086-273-5512

2、 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	: 区分外
	引火性液体	: 区分2
	自己反応性化学品	: 区分外
	自然発火性液体	: 区分外
	自己発熱性化学品	: 区分外
	酸化性液体	: 区分外
健康有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2A
	急性毒性(経口)	: 区分4
	急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分5
	急性毒性(経皮)	: 区分5
	皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
	生殖毒性	: 区分外
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	: 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	: 区分外
環境有害性	水生環境急性有害性	: 区分2
	水生環境慢性有害性	: 区分外

上記で記載がない危険有害性は、「分類対象外」か「分類できない」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: H225-引火性の高い液体および蒸気
 H304-飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 H313-皮膚に接触すると有害のおそれ
 H315-皮膚刺激

H319-強い眼刺激
H333-吸入すると有害のおそれ
H335-呼吸器への刺激のおそれ
H336-眠気またはめまいのおそれ
H401-水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

P201-使用前に取扱説明書を入手して下さい。
P202-すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないで下さい。
P210-熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけて下さい。。-禁煙。
P233-容器を密閉して下さい。。
P240-容器を接地すること、アースを取って下さい。
P241-防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用して下さい。
P242-火花を発生させない工具を使用して下さい。
P243-静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。
P260-ミスト、蒸気を吸入しないで下さい。
P264-取扱い後はよく手を洗って下さい。
P270-この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないで下さい。
P271-屋外または換気の良い場所でのみ使用して下さい。
P272-汚染された作業衣は作業場から出さないで下さい。
P273-環境への放出を避けて下さい。
P280-保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用して下さい。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けて下さい。

【救急処置】

P301+P330+P331+P310-飲み込んだ場合:口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。
直ちに医師に連絡して下さい。
P302+P352-皮膚についた場合:多量の水と石鹼で洗って下さい。
P303+P361+P353-皮膚(または髪)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、
取り除いて下さい。皮膚を流水、シャワーで洗って下さい。
P304+P340+P312-吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ
て下さい。気分が悪いときは、医師に連絡して下さい。
P305+P351+P338+P313-眼に入った場合:水で数分間注意深く洗って下さい。コンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。
医師の診断、手当てを受けて下さい。
P312-気分が悪いときは、医師に連絡して下さい。
P333+P313-皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断、手当てを受けて下さい。
P337+P313-眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けて下さい。
P362+P364-汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をして下さい。
P370+P378-火災の場合:消火するために適切な消火方法をとって下さい。

【保管】

P403+P233+P235-換気の良い場所で保管し、容器を密閉し、涼しいところに置いて下さい。
P405-施錠して保管して下さい。

【廃棄】

P501-内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

【国/地域情報】

データなし

3、組成、成分情報

化学名又は一般名 :ストーンプロテクト
(化学式又は構造式) :

成分名	重量%	化学式	官報整理番号	CAS No.
フッ素樹脂	—	—	既知	社外秘
シリコン化合物	—	—	既知	社外秘
石油ナフサ	70~80	—	既知	社外秘
ノン	10未満	C ₉ H ₂₀	2-9	111-84-2

オクタン	5未満	C ₈ H ₁₈	2-8	111-65-9
計	100			

分類に寄与する不純物

及び安定化添加物 : 情報なし

4、 応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに水で数分間、注意深く洗って下さい。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けて下さい。直ちに医師に連絡して下さい。
- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。直ちに医師に連絡して下さい。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ってください。皮膚を流水又はシャワーで洗って下さい。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断、手当てを受けて下さい。汚染された衣類を再使用する前に洗濯して下さい。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。直ちに医師に連絡して下さい。
- 予想される急性症状
及び遅発性症状 : 吸 入 : 頭痛、めまい、眠気、陶酔状態、意識喪失、協調運動不能、呼吸停止、麻酔作用。
: 皮 膚 : 乾燥、発赤、刺激、水泡、乾燥、灼熱感。
: 眼 : 刺激、発赤、痛み。
: 経口摂取 : 胃痙攣、嘔吐、吐き気、腹痛、下痢。
- 最も重要な兆候及び症状 : 情報なし。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク)を着用して下さい。
- 医師に対する特別注意事項 : 安静と医学的な経過観察が不可欠です。

5、 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災 : 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤。
: 大火災 : 粉末消火剤、散水、噴霧水又、耐アルコール性泡消火剤。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用して下さい。
- 特有の危険有害性 : 極めて燃えやすい、熱、火花、火災で容易に発火します。火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生する恐れがあります。加熱により容器が爆発する恐れがあります。引火性の高い液体及び蒸気。屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の可能性が
あります。
- 特有の消火方法 : 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を使用して下さい。
引火点が極めて低い : 散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動させて下さい。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却して下さい。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却して下さい。

6、 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 危険区域から立ち退いて下さい。専門家に相談して下さい。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離して下さい。
処理に際して、作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けて下さい。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用して下さい。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないで下さい。関係者以外の立入りを禁止します。風上に留まり、低地から離れてください。密閉された場所に立入る前に換気をして下さい。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはいけません。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意して下さい。

封じ込め及び浄化の

- 方法・機材 : 危険でなければ漏れを止めて下さい。
- 回収、中和 : 少量の場合: 乾燥土、砂や、不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収して下さい。
: 吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いて下さい。
大量の場合: 盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収して下さい。
: 散水は蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることができない恐れがあります。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源及び可燃物から速やかに隔離して下さい。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防いで下さい。

7、 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

- 局所排気・全体換気 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行って下さい。
- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用して下さい。
- 安全取扱い注意事項 : 使用前に取扱説明書を入手してください。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないで下さい。屋外又は換気の良い区域でのみ使用してください。眼、皮膚に付けてはいけません。ガス、フューム、ミストの吸入を避けて下さい。取扱い後はよく手を洗ってください。汚染された作業衣は作業場から出さないで下さい。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止します。

【接触回避】 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。

【保管】

- 技術的対策 : 保管場所は、壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作って下さい。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないで下さい。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造にして下さい。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ適切なためますを設けて下さい。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けて下さい。
- 保管条件 : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管して下さい。— 禁煙
酸化剤から離して保管して下さい。容器は直射日光や火気を避けて下さい。容器を密閉して涼しい所、換気の良い場所で保管して下さい。別の容器に移し替えて移動・保管しないで下さい。施錠して保管して下さい。

【容器包装材料】 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用して下さい。

【混触危険物質】 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。

8、 ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産業衛生学会	ACGIH
ノナン	未設定	200ppm	TLV-TWA 200ppm
オクタン	未設定	300ppm	TLV-TWA 300ppm

【設備対策】 : 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なって下さい。空気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用して下さい。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置して下さい。防爆の電気・歓喜・照明機器を使用して下さい。静電気放電に対する予防措置を講じて下さい。

【保護具】

- 眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用して下さい。安全眼鏡を着用して下さい。
- 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用して下さい。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用して下さい。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な顔面用の保護具を着用して下さい。
- 【衛生対策】 : 取り扱い後はよく手を洗って下さい。汚染された作業衣は作業場から出さないで下さい。

この製品を使用するときに飲食、喫煙をしないで下さい。

9、物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 無色～淡黄色液体
臭い	: 特徴的な臭気
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし(オクタン:13°C)
爆発範囲	: データなし(ナフサ: 下限 0.6vol%、上限 7.0vol%)
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気 = 1)	: データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1)	: データなし
比重(密度)	: 0.77～0.81 (23°C)
溶解度	: アセトンとアルコールに自由に混合
オクタノール/水分係数	: データなし
自然発火温度	: データなし(石油ナフサ: 200°Cより高い)
分解温度	: データなし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
燃焼性(固体、ガス)	: 該当しない
粘度	: データなし

10、安定性及び反応性

安定性	: 通常取り扱いにおいて安定です。流動、攪拌などにより、静電気が発生することがあります。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と接触すると反応し、火災や爆発の危険をもたらします。種々のプラスチック及び天然ゴムを侵します。
避けるべき条件	: 加熱、高温。
危険有害な分解生成物	: 強酸化剤。
混触危険物質	: 燃焼による酸化炭素類、二酸化ケイ素、窒素酸化物、ホルムアルデヒド、微量の不完全燃焼した炭素化合物。

11、有毒性情報

急性毒性	(経口): 区分外	ラット LD50 >5000 mg/kg(シリコーン化合物) ラット LD50 >15000 mg/kg(石油ナフサ)
	(経皮): 区分5	ラット LD50 >2000 mg/kg(シリコーン化合物) ラット LD50 >3160 mg/kg(石油ナフサ)
	(吸入:蒸気): 区分5	ラット LD50 5.88 mg/L/4H(シリコーン化合物)
皮膚腐食性・刺激性	: シリコーン化合物でのウサギで刺激性が見られたとの記述から区分2(皮膚刺激)とします。	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 石油ナフサで軽度な刺激性が見られたとの記述から区分2Bと考えられるが、シリコーン化合物は直接触れると重度の刺激を引き起こす場合があるとの記述から区分2Aとします。	
呼吸器感受性	: データがないため分類できない。	
皮膚感受性	: データがないため分類できない。	
生殖細胞変異原性	: データがないため分類できない。	
発がん性	: データ不足のため分類できない。	
生殖毒性	: 区分2のブチルセロソルブを含有するため、区分2(生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い)とします。	
特定標的臓器・全身毒性	:(単回ばく露): 区分3に分類される石油ナフサをカットオフ値以上含有しているため区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。 :(反復ばく露): データ不足のため分類できない。	

吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない。

12、環境影響情報

水生環境有害性 : (急性): 区分2 甲殻類(オオミジンコ) EC50 0.18 mg/L/48H(オクタン)
:(慢性): データ不足のため分類できないとした。
残留性・分解性 : 情報なし。
生物蓄積性 : 情報なし。

13、廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従ってください。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理して下さい。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託して下さい。
汚染容器及び包装 : 容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行って下さい。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去して下さい。

14、輸送上の注意

国際規制

【海上規制情報】 IMO の規定に従う。

UN No. : 1139

Proper Shipping Name : COATING SOLUTION

Class : 3

Packing Group : II

Marine Pollutant : Not applicable

【航空規制情報】 ICAO/IATA の規定に従う。

UN No. : 1139

Proper Shipping Name : COATING SOLUTION

Class : 3

Packing Group : II

【国内規制】

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

海洋汚染物質 : 非該当

国連番号 : 1139

品名 : コーティング液

クラス : 3

容器等級 : II

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号 : 1139

品名 : コーティング液

クラス : 3

容器等級 : II

【特別の安全対策】 : 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないよう積載して下さい。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないよう運搬しないで下さい。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生する恐れがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報して下さい。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行って下さい。転倒、ずれ、衝撃、摩擦などを生じさせないように固定して下さい。火気、又は熱気に触れさせないで下さい。他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしないで下さい。

い。他の危険物のそばに積載しないで下さい。重量物を上積みしないで下さい。

15、適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 石油ナフサ(政令番号 第330号) ノナン(政令番号 第432号) オクタン(政令番号 第115号) 危険物・引火性の物 石油ナフサ、ノナン、オクタン 第3種有機溶剤 石油ナフサ
消防法	: 第4類引火性液体、第一石油類、非水溶性液体、危険等級Ⅱ
PRTR法	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 引火性液体類(危規則第2、3条危険物告示別表第1)
航空法	: 引火性液体類(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16、その他の情報

問い合わせ先	: セイワ株式会社 マーケティング課
その他	: 本製品に関する決定は使用者の責任において行って下さい。 ここに記載された情報は正確を期していますが、保証するものではありません。 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。 記載された情報は新しい知見に基づき改訂することがあります。